

ケネマ地区の子どもと妊産婦への保健サービスのアクセス向上 ～村落診療所再建とコミュニティ啓発プロジェクト～



©UNICEF/2010/Asselin

最終報告書

ユニセフ・シエラレオネ事務所
子どもの生存と発達プログラム

要旨

本報告書は、FNSチャリティキャンペーンからのご支援で実施したユニセフ・シエラレオネ事務所の子どもの生存と発達プログラム「保健インフラの復旧や根拠に基づいた低コストで効果の高い介入に対するコミュニティの意識向上のための活動を通じ、ケネマ地区の子どもたちや妊産婦の女性たちの保健サービスへのアクセス向上」に関する最終報告書です。

ご支援いただきましたプログラム資金319,303.04米ドルのうち、318,832.47米ドルが次のような活動に活用されました。

- 子どもたちや妊産婦の女性たち、そして授乳中の母親たちへの保健サービスのアクセス向上のための戦略に関し、ケネマ地区のコミュニティ・ヘルスワーカーや村落診療所の医療従事者への研修の実施
- ケネマ地区の基礎的緊急産科・新生児ケア(BEmONC)センターの建設
- 基礎的緊急産科・新生児ケアセンターへの医療機器や物資の調達
- プロジェクト管理、モニタリングおよび評価

シエラレオネにおける子どもの生存の状況に関する概観

人口の50パーセント近くを占めるシエラレオネの子ども2300万人の状況は悪化しています。人口保健調査(DHS,2008)によると、乳児死亡率と小児死亡率が大きく減少したため、憂慮すべき国の健康指数が少し低下しました。2005年の複数指標クラスター調査(MICS)では乳児死亡率は1000人あたり158人でしたが、2008年の人口保健調査では1000人あたり89人でした。また、2005年のMICSで小児死亡率は1000人あたり267人でしたが、2008年のDHSでは1000人あたり140人でした。また同時に、妊産婦死亡率も改善しました。2005年のMICSでは10万人出生あたり1300人でしたが、DHSでは10万人出生あたり857人でした。しかし、この国が人間開発指標の最下層から這い上がるためにはこれらの改善は十分ではありません。2009年発行の「2015年に向けてのカウントダウン：妊産婦・新生児・子どもの生存」では、シエラレオネで、毎年およそ5,400人の女性と70,000人の5歳未満の子どもが命を落としていると報告されています。シエラレオネにおける子どもの死亡の大半が生後28日以内に発生しています。妊産婦や新生児・小児の死亡の直接原因は主として回避できるものであり、また脆弱なシステムや十分な医療サービスを受けることができない状況、そして貧困といった類似する潜在的原因と関連しています。

シエラレオネで10年におよんだ内戦は、質の高い保健サービスの利用制限を伴う大規模な社会インフラの破壊と経済悪化をもたらしました。その結果、小児死亡率および妊産婦死亡率が高まりました。

内戦が終結した2002年以来、農村部の村落診療所(PHU)のネットワーク復旧と拡大に目覚ましい取り組みがなされてきました。現在、国内には村落診療所がおよそ1150箇所あります。しかし、その中には修復や再建工事や質の高いサービスを提供できる専門性を備えたスタッフの補充、機能的な施設や環境の整備などが必要な施設があります。これは、最新の緊急産科・新生児ケアについてのニーズ・アセスメント（何が必要か評価すること）によって（2008年末実施）、様々な要因の組み合わせが原因で、基礎的緊急産科・新生児ケアの施設の資格がある村落診療所が1箇所もないことが明らかになったためです。さまざまな要因とは、人材不足や適切な設備の不足、そしてインフラの未整備などです。この急を要する状況への対策として、シエラレオネ政府とその開発パートナーは、国内の各地区で基礎的緊急産科・新生児ケアサービスを提供できるようにするため、5箇所の村落診療所の状況を改善するための介入を決定しました。

2010 年 4 月、シエラレオネ政府は、ユニセフや保健分野の開発パートナーの支援を受けて、5 歳未満の子どもたちや授乳中の母親たち、そして妊産婦の女性たちに対する無料の医療サービス・イニシアチブを導入しました。本イニシアチブは、経済的理由で医療サービスを受けることができない貧しい人びとへまで基本的なサービスを広げるための画期的なイニシアチブです。しかし、無料の医療ケアサービスを提供するには、医療物資の調達、サプライ・チェーン管理、インフラの整備、人材管理、モニタリングと評価、広報、コミュニティの意識啓発などの保健システムを向上するための絶対的な協力とパートナーの支援が必要です

ケネマ地区

ケネマ地区は、国内で 2 番目に人口が多い地区です。東部に位置する同地区の総面積は 6,355.4 km²、人口は 552,078 人です。現在、同地区には 16 のチーフダム(首長領)があり、機能する村落診療所が 122 箇所と病院が 2 箇所あります。ケネマ地区の公立病院は、東部地区のための照会先病院でもあります。

国内の他の地域と同様に、ケネマ地区で最も高い 5 つの死因は、マラリア、急性呼吸器感染症/肺炎、下痢性の病気、栄養不良、新生児期の問題です。また、ケネマ地区は隣接するボー地区などと同様、風土病であるラッサ熱の流行地域となっています。ケネマ地区の保健インフラの多くは修繕を必要としています。

医療保健施設

医療保健施設は、プライマリー・ヘルスケアの様式に基づき、次の 3 つのレベルがあります。

- ① 一次医療：村落診療所（コミュニティの保健センターや診療所、母子診療所）
- ② 二次医療：地区病院
- ③ 三次医療：地域病院と国立病院

地区保健管理チーム(DHMT)は、保健所長の主導のもと、地区の医療サービスに関する計画、実施、調整、モニタリング・評価全般を任されています。

無料の医療サービスの枠組みの中で、保健インフラの状況に関する調査によって、質の高いケアを提供するために取り組むべき重要なギャップを明らかになりました。ケネマでは、基礎的緊急産科・新生児ケアを提供するために選ばれた地域病院の小児病棟と村落診療所 5 箇所を修繕し、適切な医療設備を整備する必要がありました。

しかし 2011 年初頭、ケネマ公立病院の妊産婦病棟全体の火災が発生したため、活動に大きな支障が出ました。その結果、ケネマ地区の妊産婦の女性たちや授乳中の母親たちにとってだけでなく医療従事者にとって困難や問題を振りまきました。

ケネマ地区で既に計画されていた医療施設の工事や修繕作業に加えて、調査によって明らかになったコミュニティの人びとの行動や習慣に大きな隔たり（低い完全母乳育児率、低い殺虫剤処理を施した蚊帳の下で眠る子ども割合、低い保健施設での出産率への早急の対応が必要とされている状況です。効率的な資源の使用についてコミュニティ意識を向上させることが必要です。

ユニセフによる支援

ユニセフがサポートする戦略は、質の高い医療サービスへのアクセスを向上させることによって、子どもと妊産婦の命を守るための包括的なアプローチに基づいています。

支援の内容は、遠隔地にある医療施設の修繕、薬や物資の提供、妊産婦の女性たちや授乳中の母親たちのための必要最低限の保健サービス・パッケージの提供、母乳育児や殺虫剤処理を施した蚊帳の使用などの適切な保健習慣の促進です。

ユニセフはまた、村落診療所や地区保健管理チームのスタッフ、地元NGOの能力開発を支援し、彼らが改善されたサービスを提供できるようにしました。

主な復旧作業として、ユニセフは、ケネマ地区、コイナドゥグ地区、コノ地区、プジェフン地区の産科病棟の建設を支援してきました。同病棟には、産前・産後の妊産婦のための病室や術後・子癇の妊産婦のための病室、手術室、検査室、薬局が整備されました。

産科病棟は、妊産婦への包括的な緊急産科・新生児ケアを提供し、国内の高い妊産婦死亡率の低下に寄与する重要なインフラです。また産科病棟は、村落診療所レベルでは対応できない帝王切開や輸血などの高度な救命サービスを必要とする妊産婦がかかる第一の照会先施設となります。

ユニセフは、無料の医療サービスの立ち上げにおいて、主に物資やロジスティックやコミュニケーション、インフラ改善、給水設備などの分野を支援しました。

プログラムの目的

本プロジェクトは、ケネマ地区で質の高い保健サービスへのアクセス向上を通じて、妊産婦や乳幼児の罹患率や死亡率の低下させることを目的としています。

この支援の目的は、2つ要素から成ります。

1. ケネマ地区の保健施設のキャパシティを向上させ、新生児や乳幼児、妊産婦の女性に救命サービスを提供できるようにする。
2. コミュニティの人びとの能力を向上させ、無料の医療サービス・イニシアチブによって提供される保健サービスを有効利用できるようにする。

プログラムの戦略

これまでの経験に基づき、ユニセフは、建築事務所やコンサルタントと契約を取り交わし、修繕設計業務や数量明細書の処理業務を委託しました。建築事務所やコンサルタントは、ユニセフで決められた入札手続きに従い、建設工事を行う適切な施工業者の特定、工事の進捗状況のモニタリング、必要な支払いや中間・最終報告書の準備などを行いました。

基礎的緊急産科・新生児ケアを行えるよう機能を高めるための支援介入が行われる5つの村落診療所のうちの1つとして、Baama 村落診療所が復旧/建設工事の対象に選ばれました。なぜなら、遠隔地にありながら人口が密集するその戦略的なロケーションと他の保健施設群を助ける役割を担う能力があるからです。施設の修繕作業によって、次のような構造を提供する必要があります（機能的で質の高い分娩室、機能的な産前・産後の妊産婦のための病室や小児病室、焼却炉、適切な給水設備やトイレなどの衛生設備が備わった施設）。さらに、テーブルやイス、棚、医療機器などの基本的な備品の提供が必要です。パラマウント・チーフや議会のメンバー、宗教的・社会的リーダーなどのコミュニティの重要なリーダーや市民社会に対し、家庭における子どもの命を守るための習慣について、また基本的な予防・治療サービスの拡大を促進するため、またそれによって、伝染病による罹患率や死亡率の低下を強化するための啓発を通じて、コミュニティは、より健康的な行動をとるための意識の向上や知識を習得します。

村落診療所に組織された各コミュニティのコミュニティ・ヘルスワーカーは、コミュニティ全員にサービスを提供するために重要な役割を担います。このプロジェクトはこういったコミュニティ・ヘルスワーカーに対する研修も支援します。

募金の使途

FNSチャリティキャンペーンからの資金は、以下の重要な活動を支える資金として活用されました。

地区病院や村落診療所のスタッフおよびコミュニティ・ヘルスワーカーの能力開発

現行の子どもの生存と発達の戦略に沿って開発された改訂版研修マニュアルを使用した保健サービスへのアクセス向上のための子どもの生存の総合的介入と戦略に関するコミュニティ・ヘルスワーカー計122人や地区病院や村落診療所出身のコミュニティ・ヘルスオフィサー、看護師と母子保健のための看護助手などで構成される村落診療所スタッフ計254人への研修が実施されました。研修の対象となる医療従事者のうち85パーセント以上にあたります。



救命や小児ケアの方法に関して研修を受けるケネマ地区の医療従事者およびコミュニティ・ヘルスワーカーたち。

この研修は下記について重点が置かれています。

- 家庭レベルでコミュニティや人びとへの基本的な保健サービス・パッケージの提供におけるスタッフやコミュニティ・ヘルスワーカーの役割
- 緊急度が高い伝染病(マラリア、急性呼吸器感染症、下痢)の事例管理
- 予防接種で防ぐことができる病気の予防
- 予防接種の安全な実施
- 抗原性薬剤の対象の増加と再構成ワクチンの廃棄率の低下
- 栄養不良の治療
- HIV/エイズの母子感染予防
- 早期完全母乳育児
- 保健施設における赤ちゃんにやさしいイニシアチブの強化
- 改善されたサービス提供のため、パートナーシップと調整の必要性
- 健康増進—医療ケアへのアクセス向上のためのコミュニティの意欲を高めることや効果的なモニタリングと監督の実施。
- 保健スタッフと妊産婦、母親、介護者、コミュニティのメンバーの中での子どもの生存と発達の問題に関する持続的な対話の維持

コミュニティへの子どもの生存と発達に関する啓発活動

FNSチャリティキャンペーンからのご支援によって、家庭での子どものための健康的な生活習慣について、またいかにコミュニティ・メンバーたちがこれらの生活習慣の家庭への普及に貢献できるかについて、合計180人のコミュニティ・メンバーに対して啓発活動を行うことができました。このようなコミュニティ・メンバーには、パラマウント・チーフ、族議員、地区議員、宗教リーダー、市民社会のリーダー、女性グループのリーダー、青年グループのリーダーが含まれます。

Baama 村落診療所の修繕・拡張と新しい産科病棟の建設

古い Baama 村落診療所を基礎的な緊急産科ケア・新生児ケアサービスを提供できる保健施設にするため、25 床のベッドを有する産科病棟が拡張されました。2～3 人の妊産婦が同時に出産できる設備を持つ機能的で質の高い分娩室が備わり、また産前産後の妊産婦のための病室や小児病室を有する施設です。また、焼却炉、適切な給水設備や衛生設備も整備されます。さらに、机やイス、棚、医療機器などの基本的な備品も提供します。なお、2011 年 12 月までに建設作業が完了する予定でしたが、予期せぬ豪雨によって Baama 地区への道路が通行止めとなり、工期は 2 ヶ月以上延びました。

医療機器、医薬品、その他備品の調達

Baama 村落診療所で質の高い医療サービスを提供するため、医療機器や診察・病棟用の備品が調達されました。具体的な調達備品は次のとおりです。

手押し台車 2 台、器械台 2 台、車椅子 2 台、赤ちゃん用折りたたみ式ベッド 4 台、ワクチン運搬装置と予防接種を行う保健員が遠く離れた村へワクチンを運ぶためのアイスボックス、手動の吸引娩出器 22 器、病院用ベッド 8 床、分娩台 4 床、担架 2 台、助産師用キット 6 つ、殺菌消毒機器、蘇生道具、成長をモニタリングする道具、予防や救急用のコールドチェーン機器、薬品用キャビネット 2 台、スツール 2 脚、医薬品や医療物資の安全な保管やモニタリングおよび管理のためオートバイ 2 台（予備の部品あり）。

プロジェクトの管理およびモニタリングと評価

FNS チャリティキャンペーンからのご支援は、プロジェクトに関わるスタッフの旅費や経費、プロジェクト・サポート費や活動のモニタリングと評価のための活動費にも活用いたしました。

成果

病院や村落診療所の 254 人の医療従事者への総合的な子どもの生存と発達のためのサービスに関する研修が終了し、最低でも 1 つの村落診療所に 1 人の医療従事者を配置できるようになり、コミュニティや家庭レベルでの保健サービスの開始、実行、モニタリングに長期的に関与します。同時に、122 人のコミュニティ・ヘルスワーカーへの研修によって、村落診療所と家庭の間の永続的なつながりを提供する常在のスタッフが確保されました。このようにして、基本的な保健サービスは確実に人びとが暮らし働く家庭に普及します。



新たに研修を受けたコミュニティ・ヘルスワーカー。
©UNICEF 2011/Issa Davies

この度のご支援を通じて実施された市民社会団体などの地区のコミュニティ・リーダーに対する啓発活動によって、将来のヘルス・ケアの戦略や様々なコミュニティで実施される介入拡大における彼らの役割に関して、実践や経験から直接得た知識が供給されるようになります。このような啓発活動の取り組みが、結果的に、基本的なサービスの実施の増加やコミュニティ自体の保健プログラムへのオーナーシップの拡大、最終的には病気による負担の減少につながることを期待されています。

Baama 村落診療所は大変辺ぴな遠隔地にありますが、その戦略的な地理的な位置のために、ケネマ地区の他の保健施設へのサービスを提供できる可能性を有しています。修繕や拡張および保健センターの整備は、様々な子どもの生存のための基本的な保健サービスの提供および対象範囲を拡大する機会となります。具体的に言えば、基本的な緊急産科ケアの提供です。全体としては、Baama 地区やケネマ地区の両地域における妊産婦死亡率や新生児死亡率の削減に貢献します。

新たな Baama 村落診療所でのサービスを円滑に行うため、充実した物資や備品が調達されました。適切な医療機器やベッド、机、イス、手押し台車や棚などの備品以外にも、焼却炉や適切な給水設備や衛生設備が整備されました。その結果、円滑な医療サービスの提供や衛生的な環境、医療廃棄物の適切な管理などが可能になりました。

今後の活動方針

ユニセフ・シエラレオネ事務所は、国家活動計画に沿って活動しています。ユニセフ・シエラレオネ事務所は、FNSチャリティキャンペーンの支援で達成されたプログラムの成果を維持するために資金の動員を続けます。そして、特に次の活動への支援を継続します。

- 基本的な保健パッケージを人びとに届けるため、ワクチン、医薬品、医療物資、微量栄養素や虫下しの薬などの必要な物資を調達する。
- 基本的な保健サービスの普及率を高め、またそれを維持するため、保健施設とアウトリーチ活動の両レベルでの予防・促進サービスを提供する地区保健管理チームや病院および村落診療所のスタッフの能力開発を行う。
- 基礎的な緊急産科ケア・新生児ケアを行う施設として機能させるため、保健施設の修繕や建設支援を行う。
- 命に関わる病気から身を守る健康的な生活習慣を取り入れるためにコミュニティの啓発活動を継続する。

調達やサプライ・チェーン管理システムの強化分野で、特に比較優位であるユニセフの支援によって政府が導入した無料の医療サービスは、基本的な保健サービスによって妊産婦の女性たちや授乳中の母親たち、5歳未満の子どもたちを支援するイニシアチブです。

また、ユニセフ・シエラレオネ事務所は、保健インフラの復旧にも引き続き取り組みます。そのためには、適切な保健インフラや医療機器の整備における大きなずれに取り組むための活動資金の調達が必要です。

謝辞

ユニセフ・シエラレオネ事務所は、FNSチャリティキャンペーンによるシエラレオネの子どもたちへのご支援に感謝申し上げます。FNSチャリティキャンペーンからのご支援によって、保健システムの改善に寄与する活動を行うことができました。また、この場を借りて、シエラレオネ政府をはじめ、ユニセフのパートナー団体などにも感謝の意を伝えたいと思います。

FNSチャリティキャンペーンのこのプロジェクトに対する重要なご支援とコミットメントに対し、ユニセフ・シエラレオネ事務所の全チームより、心よりの感謝を申し上げます。

募金の使途

内容	金額（米ドル）
Baama 村落診療所の修繕工事	47,745.13
Baama 村落診療所の産科病棟の建設	130,144.91
予防接種の実施などを含む母子保健の向上のための活動	30,000.00
122 人のコミュニティ・ヘルスワーカーに対する研修 「子ども、妊産婦、授乳中の母親への保健サービスへのアクセス向上に関する戦略」	16,316.74
180 人のコミュニティ・メンバーに対する啓発活動 「家庭における子どものための健康的な生活習慣について、また、これらの生活習慣の家庭への普及方法について」	5,699.30
254 人の村落診療所および病院の医療従事者やコミュニティ・ヘルスワーカーに対する研修	34,648.44
医療機器や医薬品、その他物資の調達： 手押し台車 2 台、器械台 2 台、車椅子 2 台、赤ちゃん用折りたたみ式ベッド 4 台、ワクチン運搬装置と予防接種を行う保健員が遠く離れた村へワクチンを運ぶためのアイスボックス、手動の吸引娩出器 22 器、病院用ベッド 8 床、分娩台 4 床、担架 2 台、助産師用キット 6 つ、殺菌消毒機器、蘇生道具、成長をモニタリングする道具、予防や救急用のコールドチェーン機器、薬品用キャビネット 2 台、スツール 2 脚、医薬品や医療物資の安全な保管やモニタリングおよび管理のためオートバイ 2 台（予備の部品あり）。	52,299.34
プログラム管理費： プロジェクト・サポート費やモニタリング・評価のための現場訪問の経費など	1,978.61
合計	318,832.47
残額*	470.57

* ユニセフ・シエラレオネの活動資金に充当させていただきます。